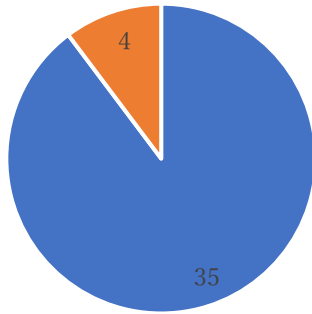


環境・体制整備

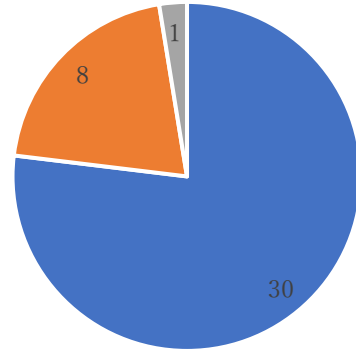
①子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか



■ はい ■ どちらとも ■ いいえ
いえなし

・毎回子供たちが笑顔になる活動が行えるスペースがある。

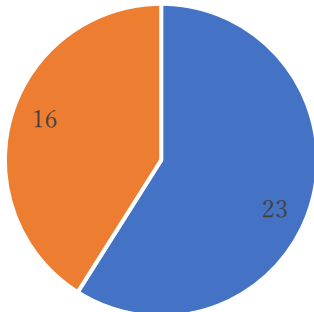
②職員の配置数や専門性は適切であるか



■ はい ■ どちらとも ■ いいえ
いえなし

・信頼をおける方々で職員お一人お一人素晴らしい。
・入り口での送迎でしか会わないのでわからない。

③事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか



■ はい ■ どちらとも ■ いいえ
いえなし

・そこまで確認していない（同様複数）

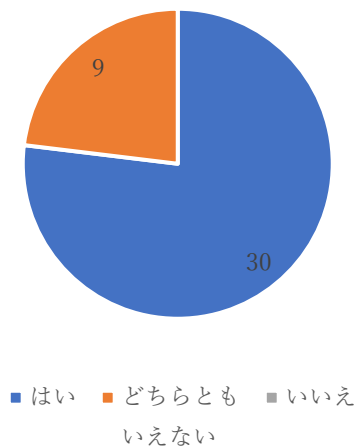
適切な支援の提供

④子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか



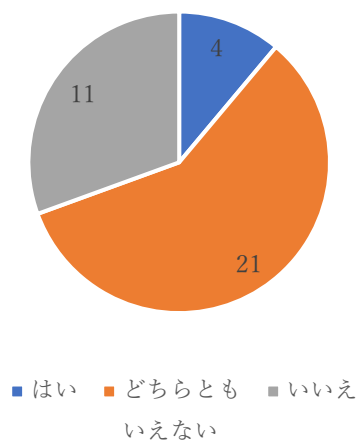
・面談以外でも職員の方々が声をかけてくれる。

⑤活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか



・学習や様々なイベントがあり素晴らしいと思っている。

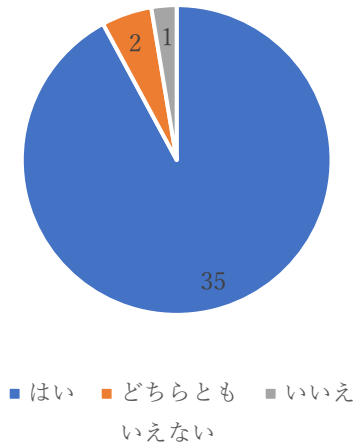
⑥放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか



・必要ないと思います。(同様複数)

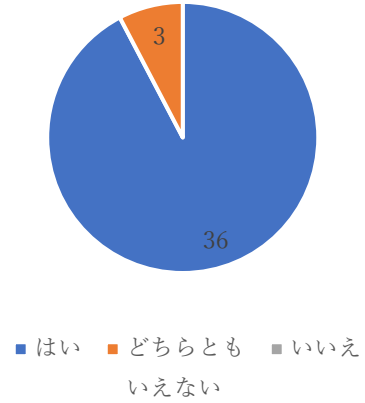
保護者への説明等

⑦支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか



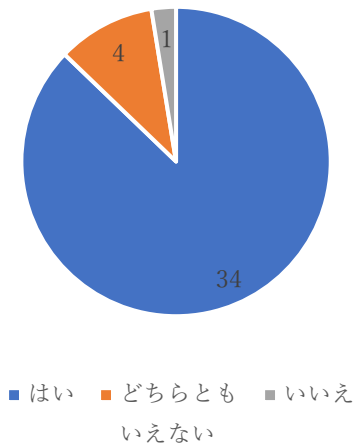
・不安しかない親も子ども安心させてくださるものでした。

⑧日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか



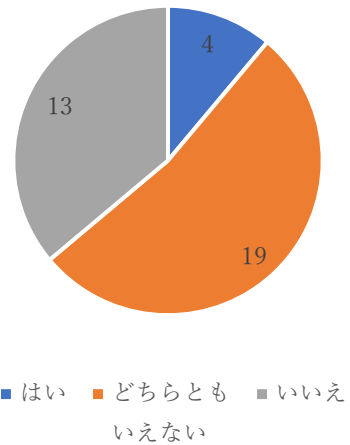
・すこしの成長でも職員の方々は褒めてくださいます。

⑨保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか



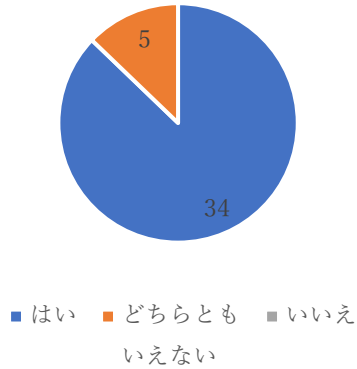
・細かいところまで助言をくれる。

⑩父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか



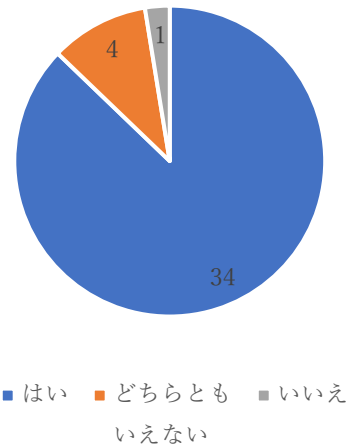
・特に必要ない (同様複数)
・参観日を設けてほしい

⑪子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか



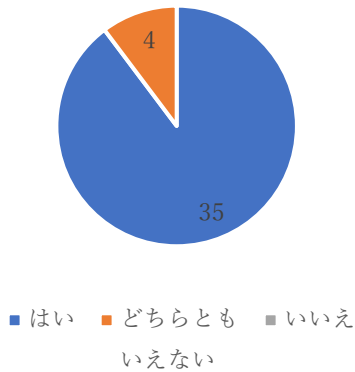
・苦情がないためわからない（同様複数）

⑫子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか



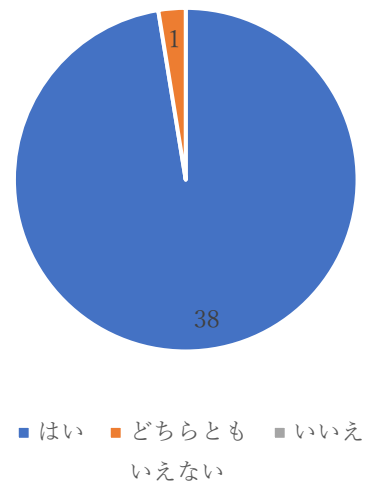
・忘れ物でも連絡をくれている
・HUG システムはよくできているが、情報伝達が一方通行になってしまうため任意でコメントを残せる機能があると LINE と分散してしまわずに記録が残せると思う。

⑬定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか



・ホームページは分かりやすく、参加したくなる情報が載っている。

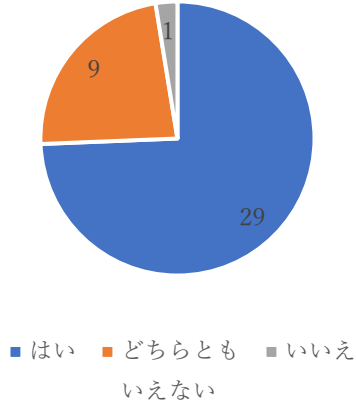
⑭個人情報に十分注意しているか



・信頼している。

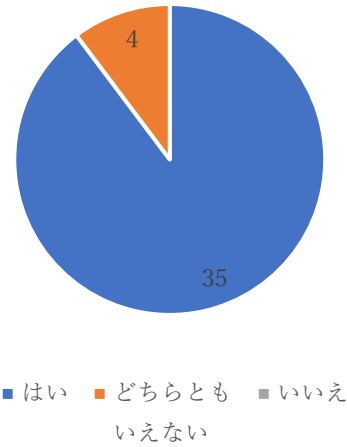
非常時等の対応

⑮緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか



・避難訓練などの情報がホームページ、ラインを通してくるため安心です。

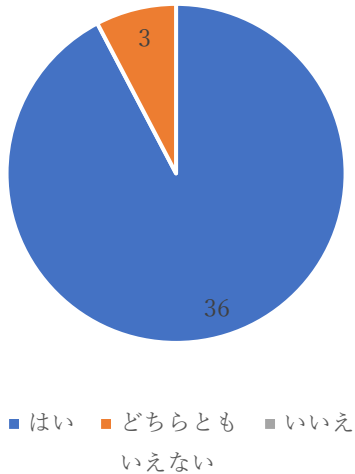
⑯非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか



・行われています。

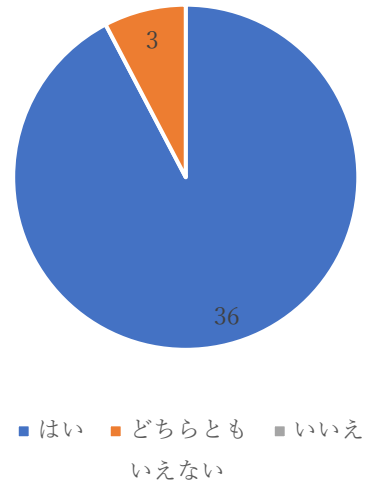
満足度

⑰子どもは通所を楽しみにしているか



・本当に楽しみにしております

⑱事業所の支援に満足しているか



【 事業所より 】

支援の満足度に関しましては、回答にご協力いただいた皆様の 92.3%のご支持をいただきました。
満足度の低い項目や、いただいたご意見につきましては、真摯に受け止め改善を図り、よりご満足をいただけるように改善してまいります。
また、高い満足度をいただいた項目につきましても、今後も引き続きご満足いただけるよう継続して向上に努めます。
この度は、お忙しい中アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。
今後も引き続き、あんプラス三ノ輪をよろしく願いいたします。

【 改善案等 】

項目②：職員の配置数や専門性は適切であるか

⇒ 毎年4月もしくは5月に職員紹介を作成し、どのような職員がいるのか周知してまいります。

項目③：事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか

⇒ フロアに段差はありません。状況によっては職員が手助けをする形で対応してまいります。

項目⑥：放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか

⇒ 現状、ご希望とご意見をいただいておりますが、希望があった際には検討をしていきたいと思っております。

項目⑨：保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか

⇒ 半年ごとの個別面談を引き続き行うとともに、お迎えの際など日頃から保護者へこまめに説明や助言をしていくよう取り組んでまいります。

項目⑩：父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか

⇒ 個人情報保護の観点から、別途アンケートなどを実施いたしまして検討します。

項目⑮：緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか

⇒ 各種マニュアルについては玄関付近に置いておりますが、位置があまり目立たないためわかりやすくなるよう置き方を検討してまいります。

【 コメント 】 (49世帯在籍中 39世帯分回収)

※一部抜粋・要約しています

・小1から通わせてもらっているので生活にかかせない存在になっていて本当に助かっています。土曜日プログラムやSSTは友達と出かけることを計画し、いろいろ体験させてもらい感謝しています。

・SSTで外出の機会は貴重でありがたいと思っています。

・子供が少しずつはつきりと成長している様子がわかり感謝です。何よりもいつもあんプラスさんから戻りますと笑顔です。高学年に向けあんプラスさんへ行く、帰る等の行動も自立に向け大きく成長できた学びです。あんプラスさんには様々なイベントがあり、四季、行事などの勉強、知らないお友達とのコミュニケーションなどを楽しく身につけさせるのに大きく影響しております。

・学習に取り組む場となっており、家庭では進まない場合もあんプラスで確実に実施している。大変に助かっている。登室前後の対応も適切に、また柔軟な対応を頂き、就労している保護者にとっては有難い。

・他の習い事はまったくやってくれませんが、あんプラスは頑張ってくれています。職員の方々のちょっとした声掛けがうれしいのか、お気に入りのものをわざわざ持って行ったりしています。楽しく通えているので、これからもよろしく願いいたします。

・悩み事や学校での嫌なことを相談できるので、あんプラスの職員の方々には、感謝の気持ちでいっぱいです。土曜日のイベントを考えるのは、とても大変だと思いますが、色々な活動イベントがあると、とても子供も喜びます。

・土曜日に体験したことを家族と一緒にやろうと言ってくれたりするので、とても楽しいのだと思います。学習についても、学校の宿題程度は一人で取り組めるようになりました。もう少しルール・約束を守るようになってくれると嬉しいです。

・集中しにくい取り組みにバラつきがあるなどコンディションに振り回されがちですが、学習に本気で取り組まなければいけないということを口に出すようになりました。今まで日頃からあんプラスで学習に根気強く指導して下さった積み重ねから「これはあんプラスで教えてもらったところだから分かっていてできたよ」など自信にもつながっているようです。学習以外でもコミュニケーションで遅刻の連絡の練習、学校とデイが重なってしまった時どちらを選ばなくてはいけなかなど将来必要になってくるスキルについてもお世話になり感謝しています。

・いつも楽しいと言っています。算数のたし算等、子供がわからない理解できない事を親が理解できず教えられないので、とても有難いです。

・学習について、日頃の通所時にどの位理解出来ているのか、また理解出来ていない单元については、どう対応していくかはスタッフの中で話し合い共通理解はされていますでしょうか？日報では「～と一緒に取り組みました。」的なニュアンスが多いですが、本人一人で解けるようにならないと意味がないです。

・楽しく通えています。今まで通りよろしく願いします。

・楽しく通えている事、勉強を教えてもらえて少しですが、自信にも繋がっていると思います。お菓子をもらえるのも楽しみのようです。あんプラスの職員の方々に教えてもらえるのは、私も子供も助かっている、子供ものびのびできるのではと思います。ありがとうございます。

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			
	②	職員の配置数は適切であるか	○			時間ごとにマンツーマンの対応ができるよう、配置を工夫している
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか			○	現状では必要とする利用者はいないが、必要とあらば指導員が介助していく
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			業務改善のための面談を毎月行っている
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者からのアンケートでの意見を把握し、業務改善に努めている
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	今後必要に応じて第三者評価の検討をしていく
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			毎月、全教室でヒヤリハットやクレームの事例を共有し、安全に支援を行えるようにしている。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			面談や書面、日々のやり取りからできる限り情報をお伺いし、計画を作成している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を因るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			定期的にミーティングを行い、活動プログラムの立案を行っている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			定期的にミーティングを行い、月ごとに季節感やアートと運動のバランスをとるようにしている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか		○		平日は個別が主で、集団は休日や長期休暇のみとなるため、子どもの利用方法により異なる。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			個々の児童の課題や分担を確認し、情報共有を行っている。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			支援終了後にミーティングを行い、その日の児童の様子や支援の共有を図っている
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			毎回取り終んだ課題や状況の記録をとり、確認と情報共有を行っている
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			6か月に一度、面談の希望を案内している
⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか		○			

関係機関や保護者との連携	㉔	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加しているか	○		児童の状況を把握した指導員が必ず参加し、対応している	
	㉕	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか		○	保護者を通して学校の情報を得ることが多く、学校とのやり取りはあまりない。状況に応じて連携を検討する。	
	㉖	医療的ケアが必要な子供を受入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	現状医療的ケアを必要としている児童は在籍していない
	㉗	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか			○	保護者とのやりとりのみのため、状況に応じて連携をとっていく。
	㉘	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供している等しているか	○			
	㉙	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			センターないしは保護者を通して受け取って参考にしているが、助言や研修は受けていない
	㉚	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	現状では必要としていないという声が多い。今後希望が出たら検討していく
	㉛	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか			○	案内等があれば、今後機会を設けて参加していく
	㉜	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			送迎時には情報共有に努めている。なかなか会えない保護者に対しては、電話やメールでのやり取りを行っている
	㉝	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	ペアレント・トレーニングを必要としている保護者が今後出てきた場合、支援を検討していく
保護者への説明責任等	㉞	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			不明な点があった際にはすぐに内容を把握し、解決して安心して通所していただけるように努めている
	㉟	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			面談以外にも保護者からの電話・送迎時などに相談援助を行っている
	㊱	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	現状では希望している方が多くないため、希望が増える様であれば今後検討していく
	㊲	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情があった際には迅速に対応し解決するように努めている。内容を的確に把握し、今後の支援に活かし、安心して通っていただける事業所体制を整えている
	㊳	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			毎月会報を発行しており、SNSでも活動報告をしている。
	㊴	個人情報に十分注意しているか	○			個人情報保護法に基づき、事業所内で留意している
	㊵	障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			電話だけでなくメール等の手段を用いて情報伝達を行い、意思疎通を円滑に行えるように努めている
	㊶	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わられた事業運営を図っているか			○	現時点で地域と関わることはないが、今後機会を設けるか検討していく

非常時等の対応	㉓	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○	各マニュアルはあり、職員へは周知しているが保護者への周知が不十分のため、今後周知に努めていく。
	㉔	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		毎年行っている。今年は火災時の訓練を行った。
	㉕	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		3ヶ月に一度、セルフチェックと研修を行っている
	㉖	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、具体的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		身体拘束が必要な事象が発生した際には、保護者に直接または電話で報告し、文書でも保存、共有している
	㉗	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○	契約時、および面談時に保護者に確認し、職員に周知している
	㉘	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		毎日のミーティングの際に共有し、文書で記録を残している